

第1話 宮太郎の誕生秘話



福祉パル
みやまへの和尚



野川



宮前区に「福祉パルみやまえ」という福祉のお寺がありました。

その和尚さんは、平成28年11月20日、一日の修行を終えて、福祉のお寺に帰る道中、野川の川沿いを歩いていました。

すると、そこに・・・とても大きな、大きな宮前メロンが流れてきました。

和尚さんはびっくりして、あわてて宮前メロンを拾い上げ、福祉のお寺に持ち帰りました。

福祉のお寺に帰り、持ち帰った宮前メロンを割ってみると・・・

中から、元気の良い男の子が飛び出してきました。

和尚さんは、この男の子がこれからの宮前の福祉を背負って立つように願い、宮前区の頭文字をとって

『宮太郎』と名付け、手塩にかけて育ててきました。

和尚さんからたくさんの愛情を注がれ成長した宮太郎は、思いやりのある優しい男の子となり、いつの日にか、生まれ育った宮前の地域の困りごとや困っている人を助けたいと思うようになりました。

今後、宮太郎は地域の福祉課題の解決に向けた行脚に出かけていく中で、さまざまな仲間に出会っていきますが・・・

そのお話しはまた今度♪

『仲間たちとの出会い編』

※このお話はフィクションです。



宮太郎



馬のマリーヌ

宮太郎の仲間



犬のヌーク



鷺のヌーマ